

第6学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 簡単な文章題は解ける児童が多くなった。
 - 苦手としていた作図も半数以上の児童ができるようになった。
- 課題**
- ▼ 「割合」や「単位量当たりの大きさ」など理解や定着が十分ではない。
 - ▼ 小数や分数の計算を正確にできるように練習する必要がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 正確な計算や単位変換ができる力。
- ◇ 既習事項を基に問題解決する力。
- ◇ 自分の考えを整理し、それを使って説明できる力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 既習事項が生かせるような授業づくりをしたり、工夫された考えの書かれた児童のノートを紹介したりする。

言語活動の工夫

- ノートに自分の考えを整理し、それを使って考えを説明し合う場を多く設ける。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を使用したり、問題への手順を示したりして児童の理解を促す。

課題解決力育成の工夫

- ノートを見返し、既習事項を活用して問題解決の方法を考える活動を取り入れ、問題文から読み取ったことを図や式に表す活動を取り入れる。

達成目標

- 分数や小数の計算の意味について理解するとともに、分数や小数の計算が正確にできる。
- 問題解決するために既習事項を活用し、絵や図や数直線に表しながら順序立てて情報を整理し、立式できる。
- 数学的に表現・処理したことを振り返り、他者の考えに触れて考えを再構築できる。